

あかり 3000個の燈火に祈る

3月5日(土)、大学生主催の平和イベント

◎チラシあり

恒久平和と新型コロナウイルス感染症収束への願いを込め、約3000個のキャンドルに火を灯す「平和の燈火(あかり)」を、3月5日(土)午後5時30分～7時30分にニッパーク岡東中央で開催する。雨天の場合は6日(日)に順延。感染拡大防止のため、付箋アートブースや関西外国語大学吹奏楽部による演奏は中止し、キャンドルの数を2000個減らすなど規模を縮小して実施する。

市内外の大学生による実行委員会が企画・運営するもので、第11回を迎える今回は平和をコンセプトにした直径5メートルもの手作りオブジェで空間を彩るとともに、家庭で使わない食品を集めて施設などに寄付する「フードドライブ」を初開催する。実行委員長の関西外国語大学3年生・澤来実(さわくるみ)さんは「子どもからお年寄りまで少しでも平和について考えるきっかけになれば」と話している。

★「平和の燈火(あかり)」は、平成24年から毎年3月に開催しており今年で11回目。市内小・中学生や来場者が書いたメッセージキャンドルに火を灯して恒久平和を祈る。第2回からは市内外の大学生で構成する実行委員会が主催で企画・運営している。



★当日は、キャンドルの点火のほか「空間デザイン」と「フードドライブ」を実施する。空間デザインでは、実行委員らが「平和」をテーマに直径約5メートルのオブジェを手作りで制作。コロナ禍における「ソーシャルディスタンス」と「人と人とのつながりの大切さ」を表現し、社会の平和を願う。フードドライブとは、家庭で眠っている食品を持ち寄って子ども食堂や福祉施設などに寄付する活動のことで、「食品ロスを減らしたい」という実行委員の思いにより実現した。当日午後1時30分～3時30分に会場で受け付ける。



▲オブジェを準備する実行委員。

★「平和の燈火」をもっと広く知ってもらうため、今年初めての取り組みとして「平和の燈火新聞」を発行した。2月25日発行の第1号は、実行委員の大学生の活動や開

催に向けての思いをA4サイズ1枚もので紹介している。今後も不定期で随時発行していく。

★イベントとして、1月16日（日）には中央図書館で実行委員が平和をテーマにした絵本の読み聞かせを行った。絵本を通して平和の大切さについて分かりやすく伝えることで、子どもたちにも平和について考える機会を提供した。

★市は、「3月1日」を平成元年に「枚方市平和の日」に制定している。市内にあった旧陸軍の禁野火薬庫が昭和14年に大爆発を起こして約700人の死傷者を出し、29年に太平洋のビキニ環礁でアメリカ軍が行った水爆実験に日本の漁船「第五福竜丸」が遭遇し乗組員が被ばくした日である。「枚方市平和の日」にちなみ、3月を平和月間として毎年、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるさまざまな平和事業に取り組んでいる。また、市は、昭和57年に府内で初めて非核平和都市宣言を行っている。



▲キャンドルカップで描かれた「3.1枚方市平和の日」。

<問い合わせ>

市長公室 人権政策室 ☎:072-841-1259、FAX:072-841-1700

令和3年度(2021年度)枚方市平和の日記念事業

あかり

平和の燈火

<日時> 令和4年(2022年)3月5日(土)

午後5時30分～7時30分

※雨天の場合、6日(日)に順延

<会場> ニッペパーク岡東中央(岡東中央公園)

(京阪電車「枚方市」駅下車 徒歩約3分)

戦前から戦中にかけて、枚方市には大きな軍需工場が3つもありました。

昭和14年(1939年)3月1日、当時の陸軍の禁野火薬庫が大爆発し、多くの方が死傷しました。

枚方市では、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えるために、3月1日を「枚方市平和の日」と制定し、戦争と平和を考えるさまざまな事業に取り組んでいます。

次世代を担う子どもたちとともに、約5,000個のあかりに平和のメッセージを込めて、発信します。

午後1時30分～3時30分

フードライブ・付箋アートブース

午後1時30分～1時45分

関西外国語大学吹奏楽部による演奏

午後5時30分～

平和の燈火(あかり)オープニング

(実行委員長による開会宣言及びあいさつ、

市長あいさつ、黙とう、メインキャンドル

点火式)

※手話通訳あり

※入場の際は、手指消毒・検温・マスクの着用をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場制限や内容変更をする場合があります。(その際は、市ホームページに掲載します。)



<共催>枚方市平和の燈火(あかり)実行委員会(大阪工業大学、大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部、関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部、京都文教大学・京都文教短期大学、大阪歯科大学、関西医科大学)、枚方市、枚方市教育委員会

<問合せ>枚方市 市長公室 人権政策室
TEL: 072-841-1259
FAX: 072-841-1700

平和の燈火とは

「平和の燈火(あかり)」は平成24年(2012年)に第1回を開催し、今年で第11回目を迎えます。平成25年(2013年)の第2回からは、市内等の大学生を構成員とする実行委員会形式で実施しています。

今年も、市民一人ひとりが平和への思いや願いをキャンドルに込め、参加者全員で平和を願い、開催します。枚方市から、平和への思いを発信しましょう!

実行委員の取り組み

フードドライブ

食品ロスを少しでも減らそうという取り組みとして、フードドライブを行います。ご家庭で眠っている食品や食材を寄付していただき、必要とする誰かに届けるというシステムです。是非ご協力ください。

付箋アート

「明るく平和な未来」を付箋に書いて、一つの絵を完成させる、付箋アートを行います。平和な未来について考え、その実現に向けて取り組むことで、今よりもっと平和な世界になると信じています。

付箋アートを通して、自分にできることを一緒に考えてもらえればと思います。

空間デザイン

～社会の平和を願って～
コロナ禍の「ソーシャルディスタンス」と「人と人との繋がり大切さ」を表現します。
枚方に希望の燈火(あかり)を灯し、平和を願います。



平和の燈火新聞

Vol.1

2月25日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



平和の燈火実行委員会は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みを実施します。

大学生の力×平和 『今、自分たちができること』



2月17日、会場のニッペパーク岡東中央でリハーサルに臨む大阪工業大学の学生たち。小泉海斗さんは「ソーシャルディスタンスと人と人の繋がり大切さを表現する立体造形物を準備しています。当日の完成を楽しみにしてほしい」と力を込める。

3月5日(土) ニッペパーク岡東中央で開催

平和を願うキャンドルを灯すイベント「平和の燈火（あかり）」の準備が着々と進められている。

毎年、市内大学生を構成員とする実行委員会形式で開催されているもので、今年で11回目。コロナ禍の中、一部規模を縮小するものの、大学生らは「こんな時だからこそ、平和について考えてもらう機会を作りたい」と意気込んでいる。

食品ロスを減らしたい

ご家庭で眠っている食品を持ってきてください！

家庭で余っている食品や食材を募り、福祉団体や生活支援を必要としている個人などに無償で届ける「フードドライブ」を行う。取り組みを企画した実行委員長の澤さんは「ご家庭で眠ってい

る食品が活用できます。ぜひ多くの皆さんに協力してもらいたいです」と笑顔です。

対象食品は未開封で賞味期限まで1カ月以上あるインスタント食品や缶詰、調味料など。



澤 来実さん＝第11回枚方市平和の燈火実行委員会委員長。関西外国語大学3年生。

知ってほしい 「枚方市平和の日」って？

当日会場では壁新聞「枚方市から平和へのメッセージ」を掲示します。「なぜ3月1日が枚方市平和の日なの？」など、写真入りで分かりやすく紹介。京都文教大学の中須賀美幸さんは「普段あまり関わらない戦争や平和について知ってもらおう事で改めて枚方市の戦争の歴史や今の平和について考えて欲しい」と話している。

あかり 平和の燈火

3月5日(土) ニッペパーク岡東中央で、平和への思いや願いを込め、小中学生らが平和のメッセージ等を描いたキャンドル約3000個を灯します。会場での感染症対策へのご理解ご協力をお願いします。事前申込不要。参加無料。※雨天の場合、6日に順延

- ▶ フードドライブ＝午後1時30分～3時30分
- ▶ キャンドル点灯＝午後5時30分～7時30分